

性差研究の作る道

Frontier of Gender and Sexuality Studies:
Aging Society and Technology

老いとテクノロジー

日 時

2011 1/26 水 午後1時～

参加申込み不要
参加費無料

場 所

北海道大学 クラーク会館 講 堂

〒060-0810 札幌市北区北8条西8丁目

司 会

瀬名波栄潤 北海道大学文学研究科准教授

パネリスト

「介護における個と協働社会」

北海道の高齢社会をよくする女性の会会長 阿達まさ子

「自立を可能とする社会構造づくり」

北海道大学文学研究科教授 金子 勇

「福祉機器のユニバーサルデザイン」

北海道大学工学研究院教授 但野 茂



駐車場はありませんのでお車での御来場は御遠慮下さい。



2007年、日本は超高齢社会（総人口における65歳以上人口の割合を表す「高齢化率」が21%を超えること）になりました。現在の高齢化率は23.1%、2055年には40.5%になると予測されています。

本シンポジウムでは、北海道の現状、社会学の行政への眼差し、そして科学技術の取り組みを紹介します。そして、「年をとると男も女もないのか」を切り口に、自助努力を支え一人一人が安心して生活できる提言をおこないます。

お問い合わせ

北海道大学大学院文学研究科

瀬名波 栄潤 (☎011-706-4085)
中地 美枝 (☎011-706-2865)